

世界の考えるリスクの変遷

毎年1月に世界各国の首脳や世界的企業の経営者が世界の課題について議論するダボス会議（世界経済フォーラム（WEF）の年次総会）が開催され、これに合わせてグローバルリスク報告書（The Global Risks Report）¹が公表される。報告書に掲載されている下図は「進化する世界のリスク（The Evolving Risks Landscape）2007-2020」で、上段は世界のリスクで起こりそうなもののトップ5、下段は発生したときのインパクトが大きいもののトップ5である。

2007年から2020年の間に、世界の考えるリスクは「経済リスク」から「自然災害リスク」へと変化している。ここではモノクロで違いを明示しているが、実際には原文で色の違いを感じていただきたい。2008年以降数年はリーマンショックを受けて金融関連のリスクが高いが、2011年以降は、自然災害によるリスクが高いという認識に変化している。

図 2007-2020進化するリスクの展望

発生の可能性が高いグローバルリスクの上位5位

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1st	インフラの故障	資産価格の暴落	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	暴風雨・熱帯低気圧	極端な所得格差	極端な所得格差
2nd	慢性疾患	中東の不安定	中国経済成長鈍化	中国経済成長鈍化	洪水	長期間にわたる財政不均衡	長期間にわたる財政不均衡
3rd	石油価格の急激な高騰	国家破綻および危機	慢性疾患	慢性疾患	不正行為	温室効果ガス排出量の増大	温室効果ガス排出量の増大
4th	中国経済のハードランディング	石油価格の急激な高騰	グローバルガバナンスの欠如	財政危機	生物多様性の喪失	サイバー攻撃	水供給危機
5th	資産価格の暴落	慢性疾患	グローバル化の抑制（新興諸国）	グローバル・ガバナンスの欠如	気候変動	水供給危機	人口高齢化

影響が大きいグローバルリスクの上位5位

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1st	資産価格の暴落	資産価格の暴落	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	財政危機	システミックな金融破綻	システミックな金融破綻
2nd	グローバル化の抑制	グローバル化の抑制（先進国）	グローバル化の抑制（先進国）	グローバル化の抑制（先進国）	気候変動	水供給危機	水供給危機
3rd	国家間の戦争や内戦	中国経済のハードランディング	石油・ガス価格の急騰	石油価格の急騰	地政学的紛争	食糧危機	長期間にわたる財政不均衡
4th	パンデミック	石油価格の急激な高騰	慢性疾患	慢性疾患	資産価格の崩壊	長期間にわたる財政不均衡	大量破壊兵器
5th	石油価格の急激な高騰	パンデミック	財政危機	財政危機	エネルギー価格の急激な変動	エネルギー・農産物価格の急激な変動	気候変動対策の失敗

□ 経済 ■ 環境 ■ 地政学 ■ 社会 ■ テクノロジー

出典：世界経済フォーラム第15回グローバルリスク報告書2020年版日本語版 マーシュジャパン/マーシュブローカージャパン翻訳

1 グローバルリスク報告書 <https://www.weforum.org/reports/the-global-risks-report-2020>

具体的な数字をみると、国連の調査結果²では「2010年の自然災害死者数29.7万人（ハイチ大震災約22万人、ロシアの熱波5万人超）、自然災害は385件、経済的損失は総額1,239億ドル（当時の日本円で約10兆円）、被災者は約2億1700万人」、「2011年の自然災害は332件（東日本大震災、ニュージーランドの地震、タイの洪水被害を含む）、経済的損失は総額3,661億ドル（同約30兆円）、被災者は約2億4500万人」とされている。また、グローバルリスク報告書2020年版では、地球全体での自然災害による2018年の経済的損失は1,650億ドル（約18兆円）となっている。

こうしたなか2012年以降、国連では自然災害への対応を含め、ミレニアム開発目標（MDGs）を土台に構築した一連の持続可能な開発目標（SDGs）を提唱。2015年9月には各国政府による合意が得られた。日本でも、各分野でSDGsへの取組が進んでいる。

最後に、同報告書では、新型コロナウイルスのような感染症リスクもテロと同程度の発生割合で、かつサイバー攻撃や人為的環境破壊と同程度の影響を及ぼすリスクであると認識されていたことを付言しておきたい。

（商工総合研究所主任研究員 中谷京子）

2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
極端な所得格差	国家間紛争	大規模な非自発的移住	異常気象	異常気象	異常気象	異常気象
異常気象	異常気象	異常気象	非自発的移住	自然災害	気候変動対策の失敗	気候変動対策の失敗
失業・不完全雇用	国家統治の失敗	気候変動対策の失敗	自然災害	サイバー攻撃	自然災害	自然災害
気候変動	国家の崩壊または危機	国家間紛争	テロ攻撃	データの不正利用	データの不正利用	生物多様性の喪失
サイバー攻撃	高度の構造的失業または過少雇用	自然災害	データの不正利用	気候変動対策の失敗	サイバー攻撃	人為的な環境災害

2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
財政危機	水危機	気候変動への対応の弱さ	大量破壊兵器	大量破壊兵器	大量破壊兵器	気候変動対策の失敗
気候変動	感染症疾患の迅速かつ広範囲にわたる蔓延	大量破壊兵器	異常気象	異常気象	気候変動対策の失敗	大量破壊兵器
水危機	大量破壊兵器	水危機	水危機	自然災害	異常気象	生物多様性の喪失
失業・不完全雇用	国家間紛争	非自発的移住	自然災害	気候変動対策の失敗	水危機	異常気象
重要情報インフラの故障	気候変動対策の失敗	エネルギー価格の変動	気候変動対策の失敗	水危機	自然災害	水危機

注：グローバルリスクの定義と組み合わせは、向こう10年間の対象期間に新たな問題が発生するとともに変化するため、各年のグローバルリスクを厳密に比較できない場合がある。たとえば、サイバー攻撃、所得格差、失業は、2012年からグローバルリスクとして取り上げられるようになった。また、一部のグローバルリスクは見直しが行われ、水危機と所得格差は、社会リスクとして分類されていたが、2015年版と2014年版ではそれぞれ再分類された。

2 国連の協力機関「災害疫学研究センター」調査 Annual Disaster Statistical Review 2010、同2011より